

81.3.24

No.697

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)〇五五(22七)二〇七



3月21日 三里塚 全国総決起集会で圧倒的に確認

動労千葉三月決戦ストの歴史的壮挙に全人民の共感！

一九七八年三月二十六日、政府支配者が空前の厳戒体制を敷き、「国家の威信をかけ」強行せんとした暫定開港は、三里塚農民を先頭とした全人民の怒りの爆発の中で劇的に粉碎された。

この歴史的勝利の「3・26」三周年を記念して去る3月21日、全国から結集した闘う労働者人民は、これまたそれをひきつぎ上まわる歴史的壮挙「動労千葉81・3決戦ストライキ貫徹」の偉大な勝利の地歩をはっきりと確認し、勝利への確信と感動に満ちあふれ、きたるべき二期着工阻止と廃港への闘い意志一致をしっかりとちとつたのである。

2月19日線見阻止闘争を皮切りに、空港の動脈を断つ3月2日からの五日間の大ストライキ貫徹に至る16日間にわたる三月決戦闘争を闘いぬいた疲れをもとせず、動労千葉は一三〇名の隊列をもって結集し、雨をもついで最後まで闘いを貫徹した。

全戸動員で決起した反対同盟と全国から結集した闘う仲間五二〇〇名は、歓呼の声と拍手をもつてわが動労千葉の隊列を迎え、口々にその勇氣ある決起をたたえ、全体がこの闘いをひきつぎ拡大し、春闘前にも予想される大量報復処分粉碎に動労千葉全力支援を決意し、集会の名において宣言した。

われわれは、第二、第三の「三月決戦スト」の力を秘めて、二期着工阻止へ、完全廃港勝利への新たな出発を開始したのである。

「動労千葉支援基金」を設立し、
——すでに各界著名人が呼びかけ

三里塚第一公園での集会は12時半、内田行動隊長の開会宣言で開始された。主催者あいさつに立った反対同盟石橋委員長代行は、三年前の開港粉砕闘争、とりわけ管制塔をふきとばした勝利の闘いを思い起しながら、以降三年間の「開港」下での闘い、とりわけジェット燃料貨車輸送阻止を軸とした労働連帯の闘いの発展——その全成果をかけた動労千葉三月決戦ストが二期阻止し廃港への展望を決定的にきりひらいた事を喜びと確信を持って宣言した。

北原事務局長の基調報告に続き、満場の拍手と歓声に迎えられる特別報告に立った動労千葉関川委員長は、「三月決戦ストライキ闘争に動労千葉千三百は自己と組織の全てを投入して闘い勝利した。権力・当局・動労『本部』スト破り集団の一体化した攻撃をぶち破り、三里塚の勝利と日本労働運動の未来をかけて決起した。仰天した敵は大量報復処分をかけてくるだろうが、全国の闘う仲間と共にこれをうちくだいて更に前進していく」と力強い決意を表明した。

闘う諸団体からの発言は、関西新空港反対住民代表、バイブライン反対住民代表、日本原農民、北富士農民、闘う沖繩代表(メッセージ)、部落解放同盟、東京実行委、連帯する会、廃港要求宣言の会、東水労、反原発戦線などからなされ、口々に動労千葉の決起をたたえた。

ジェット闘争支援共闘の代表であり東京実行委の代表として発言した浅田氏は、「一切の困難をふり切って英雄的に決起した動労千葉を守り、これに続くことこそ全国の闘う人民の任務。『動労千葉支援基金』を設立し、全国に強力な恒常的カンパ網をつくり上げ、絶対に守りぬく」と決意と呼びかけを行った。

集会はこのあと、反対同盟の決意表明、管制塔被告家族会の訴え、カンパアピール、集会宣言等々のうち、熱田副行動隊長のスローガン採択、ガンパローをもって雨中のデモに出席した。

デモ終了後、三月決戦ストを共に闘うことによつて大きく成長してきた動労千葉を支え共に闘う全国労働連の仲間と共に合同総括集会を勝ちとり「処分粉碎、大カンパ闘争、二期着工阻止、81春闘勝利」のガンパローをもって18時すぎ解散した。

報復処分加えるなら、
断固たる実力抗議を展開する！

集会の中で、反対同盟、青行隊より「動労千葉の正義の決起に国鉄当局が不当な報復処分を加える等の事があれば、反対同盟はじめ三里塚を闘う全ての勢力は燃料貨車輸送粉砕を含むあらゆる攻撃をもって抗議する。一切の責任は当局の姿勢にこそある。不当処分策動を直ちにやめよ」との趣旨を含む警告の申し入れを当局に行つたことが発表され、全参加者が圧倒的拍手でこれを確認した。

三里塚・ジェット闘争貫徹、「国鉄35万人体制」粉碎！

あらゆる力を総結集して 報復処分粉碎・動労千葉を守りぬく！

3.21 三里塚 全国総決起集会で圧倒的に確認